

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

留学レポート Study Abroad Report

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) M.M
所属 (School) 工学研究科 航空宇宙海洋系専攻
学年 (Grade) 2年

留学先 (Name of overseas institution)
Monash University (Australia)
留学期間 (study abroad period)
2020/8/24~2020/9/18

記入日 (Date) 2020/9/18

<参加プログラムについて>

今回、私はオーストラリアにある Monash University にて Monash English (ME) という英語研修プログラムにオンラインで参加しました。本年度はコロナウイルスの影響もあり、現地に赴くことができませんでしたが、オンラインでも様々なことを学びました。まず、私がこのプログラムに参加しようと思った理由について述べます。私は以前から海外留学をしたいと漠然と頭の中に描いていましたが、金銭的な面や研究の面から実現できず、気づくと修士2年という学生最終年を迎えてしまいました。そのような状況の中、今年はオンライン留学プログラムが開催されるという案内を発見しました。今年度はコロナウイルスの影響で私が望む現地滞在という希望は叶いませんが、渡航費や現地滞在費を考える必要がなく、現地に赴くことによる制約がないというメリットもありました。そこで、今年の夏休みは余計な外出を控え、英語を勉強しようという決断しました。MEを選んだ理由は日程的な理由に加え、1か月間、英語の4技能についてしっかり学べると感じたからです。

<授業の概要>

授業は Zoom を用いて行われました。レベルは英語試験のスコアの提出後、Zoom で現地の先生からインタビューを受け、Pre-advanced というクラスに配属されました。クラスには中国、ベトナム、イラン、サウジアラビア、日本からの13人の学生がオーストラリアや中国など各々のいる場所からオンラインで参加していました。日本からの学生以外は Monash で今後学んでいく人たちで、私は彼らの中に混ざって授業を受けました。授業は日本時間の9時半から昼過ぎまで、Google document や Zoom の breakout room 機能などのテクノロジーを駆使して行われました。毎回先生が class lesson plan を Google Document で提示してくださり、その内容に沿って授業が進められました。Listening, Speaking, Writing, Reading の4技能を様々な方法で学びました。内容によって手順は変わりますが、基本的にはまず提示されたことについて個人個人で考えた後、Breakout room にてクラスメイトと考えや答えを共有し、意見をまとめて1つの Google document に書き込み、最後に全体で発表するという流れでした。対面で会っていないということ以外は普通に受ける授業と何ら変わりなく受けることができ、この点に私は強く感銘を受けました。Breakout room は、先生が各グループを巡回してくださっていたので、困ったことやわからないことがあるときにはすぐに教えていただきました。また、当然英語で話す必要があるため、各国の人の訛りがある英語を聞き取るのに時々苦労しました。

<具体的な授業内容>

次に、私が受けた授業の具体的な内容を説明します。Listening では、Memory, Endangered animals や Venice が抱える問題など多岐にわたる内容の英語を聞きました。英語を聞きながら、ノートテイクする練習をしましたが、私にとっては知らない言葉も多く、難しく感じました。そして、2回ほど Listening Folio という小テストのようなものを受け、理解度を確認しました。ただ、聞いて内容を確認するだけでなく、クラスメイトや先生と意見交換をする「話す」機会や内容を他の英語で言い換えたりする「書く」機会など能動的な能力を高めるための練習もたくさんすることができました。Speaking では主にプレゼンテーションをする機会が多かったです。プレゼンテーションで最も大変だったのは限られた時間での準備です。オンラインということでチームメイトと直接会うこともできず、割り振りやスライド作成をする必要があったので大変でした。テーマは Monash のあるメルボルンでの社会問題の原因とその解決策や動物の能力に関するものなど多岐にわたりました。発表するだけでなく、他グループの発表を聞いて質問をしたり、発表後の先生からの細かい発音や英語の使い方に関するフィードバックを受けることができました。また、2週に1回、ディベートも行いました。Reading では様々な記事を読んで、意見交換したり、パラグラフごとのタイトル付けなどをしました。そして、こちら最後は内容確認のクイズに答えました。Writing では、提示されたテーマに対して1時間で300語のエッセイを書き、フィードバックをもらい、書き直すというトレーニングをしました。エッセイの構造や有効な言葉などを教示していただき、次第に良い文章を書けるようになったと実感しています。以上だけでなく、写真を見て、単語とスペルを答える Word Quiz や Quizlet というアプリを用いて、単語クイズの答えるスピードをクラス全員で競うという楽しい授業もありました。1か月という時間があっという間に過ぎ、たくさんの収穫を得ることができました。

<最後に>

このような形が来年度も続くかどうかわかりませんが、このプログラムは先生が親身になって対応してくださるので有益なプログラムだと思います。しっかりと英語を勉強したい人にとってはとても良いと思うのでオススメです。